

ふれあいトーク記録書（サポーターとの意見交換会）

開催日時：令和2年11月14日（土） 午前10時～午前11時30分

場 所：市役所7階 第2・第3委員会室

参加者：サポーター4名、議員10名

- 次 第： 1. 開会あいさつ 市議会議長 梅村 均
2. 意見交換
3. 閉会あいさつ 市議会副議長 鬼頭博和

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
9月議会を ふり返って	SDGsを取り上げて質問されている議員は、それが市民生活にどのような影響やメリットがあると考えているのか。市民生活に向き合った質問をして欲しい。	<ul style="list-style-type: none">・行政が今行っている市民サービスがSDGsのどれに当てはまるかということになりがちであるが、今までやっていないことも幅広く視野を広げていただきたい。足元を見つめることも大切だけど全体像を見失わないように、という講演を聞いた。市民生活に対しても、固定化することなく柔軟に対応することが今後必要であると考えている。・9月議会で、地球温暖化、気候変動の質問をした。地球温暖化で気温が高くなって、台風が多いということで、危機を乗り越えるには、一人一人が地球温暖化について考え、自分たちができることをやればいいのかと思って、二酸化炭素を出さないためにマイカーではなく自転車や徒歩でというような質問をした。・SDGsは、世界共通の目標ということで、ダイレクトに市民にメリットがあるかどうかというのはなかなか難しい。ただ、第5次総合計画が今策定中であるが、その中でも、施策がSDGsのど

	<p>緑化について</p>	<p>の目標に合致するかということを考えながら戦略を立てていく方向になっている。そのことによって、市民の方々が今一度足元を見つめ直し、自分のまちだけではなく、世界共通のグローバルな視野を持つ意識改革もできてくるのだろうと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現市政は、緑化に関しては消極的、後ろ向きだと受け止めている。担当部署は環境保全課だと思っているが公園の管轄は維持管理課（都市整備課の間違いか？）になるので、その二つの課が協働して前に進めていくという答弁があった。 ・環境問題というのは今後大事なので、環境保全課がイニシアティブをとって進めて欲しいという声を議会でも上げてきた。
<p>市民の声について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ウォッチングで課題が見えてきた。通常困っていることや疑問に思っていることを一個人としてどこへ持って行けばいいのかわからない。今回は、請願権はみんな持っているし、問題意識を絞って傍聴させていただこうと思っている。 ・市役所近くの踏切の歩行者用の幅が狭い。若い人が自転車でスピードを上げて通過するのを黄色の縁石に載って避けたときに転んで骨折した。安全に通行できるようにしていただきたいが、それを市役所のどこに言えばよいのかわからない。都市整備課に行ったが、同情してくれはしたが、窓口の人はそれでおしまい、その後のアクションをどうすればいいのかわからない。一般市民の個人の意見の吸い上げも大事ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方からの意見について同調できるものは、議員が一般質問で行うことが多い。 ・踏切の中は、鉄道事業者の管轄であるが、そこに道路も通っているわけなので道路管理者も責任がある。危険な箇所の改善については、道路管理者が負担金を出し、名鉄の方が施工するというのが、これまでの通例の方法である。具体的なお話をいただいたが、あの場所は、我々も問題意識を持っている。バス通りの踏切の道路は県道なので愛知県が道路管理者であるので、市を通し県の方に声を上げていくことが解決方法になるだろう。

		<ul style="list-style-type: none"> ・執行機関には市民の声という制度があり、市役所の玄関に箱が設置してあり、そこに投書したり、ネットからも意見を上げたりすることができる。匿名でなければ、その意見に対し回答が返される。また、区長を通して意見を言うこともできる。 ・議会に対しては、請願や陳情という手法もある。 ・いろいろな手法で声を上げることでまちが活性化している。 ・もともとは道路を高架にするという計画があるが、道路がカーブしていたり近隣の家屋の状況などの課題があり、現実的に動いていない。都市計画道路の見直しをすることを含め、総括的に進めていくことが必要ではないか。県の方でも見直しを検討したということも聞いているが、結局現行の計画を進めていくということになっている。しかし、市民の方が安全に通行できるように、議会でも努力していく必要はある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・水道管の工事を行っていて、苦情を市に言いに行ったら一宮の土木事務所へ言って欲しいと言われた。市と県はバラバラという印象を受けた。 ・西春方面からトップワンへ行く人が多く、農道は、近道として車の横行が多い。農業をやるための土地改良でできた農道であるのに藁を積んだ車を駐車しておけない。一宮市で「農道ですから農作業を優先してください」という看板を立てていたのを見たことがある。 ・また、藁を燃やしていたら、どなたかが通報し、立 	<ul style="list-style-type: none"> ・川井町・大山寺町における送水管の工事が行われている。都市整備課に申し入れをすれば対応してくれるはずである。 ・藁の件については、言い方が悪かったということで、ここでお詫び申し上げる。 ・消防署は、市民からの通報があれば行かなければいけないので、そのことはご理解いただきたい。

	<p>派な消防車が来た。違反ではないが気を付けてくださいと言われた。旦那さんはいないのかとか、どうして農協にやってもらわないのかとか、そんなことを消防署に言われる筋合いはないと思う。消防車を動かすにも税金が掛かっているわけで、こんな事に税金が使われているのかと思うと哀しくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員は、4年間は安泰であるが、市民の中には収入が減っている人はいっぱいいる。どう考えて議員生活を送っているのか伺いたい。 	
<p>第5次総合計画について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画を見ていて、10年後3,000世帯増加するとなっている。30代の人口が大きくなっているが、産業誘致によって増えるのかと思っていたが、ベッドタウンとしての増加であると読める。その一方で造成している工業団地の話もあって、それを含めてなのか、今ある既存家屋を使っの3,000なのか教えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存家屋だけの話ではないと捉えている。企業が増え、雇用が生まれ新たな住宅が建てられていくということも含んでいる。あと、駅前周辺のマンション建設が増えていることもあり、それらを踏まえての計画であると考えている。 ・都市計画マスタープランで、南新町の南側を市街化区域に編入するという計画を予定している。日本全体の人口は減少していくことは事実であり、愛知県も人口が減ったという報道があったところ。なので、県にとってみれば市街化区域の拡大は疑問が生じる。それを解決する手法としては、区画整理事業ということになり、市が主導する方法と地元で行う方法とに分かれるが、調整池、幹線道路や公園も必要となり、多額な費用が掛かる。 ・第5次総合計画のパブリックコメントも始まり、議会としても市民の方からどういった意見が寄せられるのか注目しており、その後、特別委員会を開催し、それらの意見に対し、市はどのように対応していくのかを聞きながら、3月議会に議案として提案さ

<p>道路整備について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道路がガタガタの所が多い。人にやさしいまちを目指すなら、歩道の整備をするべきではないか。ベビーカーや杖で歩く人にとってどうなのか。職員も市役所の周りでいいから、車いすやシルバーカーなどで歩いてみて欲しい。 ・五条川の堤防道路の南部の方を歩いた時に思ったことであるが、せっかくの桜なのに、草が茂っており用心が悪いところがある。健康のためにはガタガタ道を歩く方が良いと思うが、健康都市を名乗るならもっと整備すべき。健康のためには、歩くのが一番である。 	<p>れる総合計画案に臨んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私も自転車で走っていて、少しの段差で転んでしまったことがある。歩道がもう少し整備されればよいと思っている。岩倉市の道路は全体的に狭く、自転車と歩行者は絶対にすれ違えることができない。この問題については、多くの議員が議会でも取り上げてきたが、なかなか難しい問題で解決できていない箇所が多い。 ・待合橋から南は、県道扱いになっており、県道から市道扱いにすると4m道路にしないといけない。遊歩道になっており、県に整備してもらわないといけない。
<p>学校給食について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政経営プランの中で、給食がまずくて食べ残しが多いということで、美味しいという指標をどのように取るかということで、食べ残しを減らすことを指標にしたと提言したが、どうにかなってしまった。おいしいという指標は、どうやって測るのか。外部委託になって本当に良かったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間委託になって、また配膳業務にも拡大してきており、その都度意見してきたが検証する時期であると思う。シェフのスペシャルメニューということも行っているが、児童・生徒にとって、どうなのか。温かいと美味しいと思うとか、また一般質問でも取り上げていきたい。 ・食べ残しが出ないように、残った分を食べたい子が食べるなどの工夫もしている。食べ残しの量だけで、美味しさは判断できないのではないか。 ・味覚は、千差万別なので、なかなか難しい。 ・メニューも栄養士が考えたものを委託業者がレシピに沿って作っているのだから、基本的に業者が変わったからまずくなったという

	<p>・外食が増えている。保存料や着色料の問題や甘い食べ物が多いが、将来的に成人病にならないためには薄味で、素材の味を感じるようにしないとけない。</p>	<p>ことはないと思う。</p> <ul style="list-style-type: none">・給食が楽しいという児童・生徒の割合が 82.6% という統計がある。・市も安くおいしい魅力的な給食にしていこう努力している。・温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま提供している先進地もある。
--	---	--